

**【バーゲン・コーナー】 2019/12/26**  
**¥1,000-スペシャル**

全て税込¥1000-。売り切れ御免、在庫品限りの特別価格です。数の少ないものばかりですので、必ず第2, 第3 希望などもお知らせください。

(下記、過去のニュースレターの抜粋です。)

**●SKFR-2018 CHERRYHOLMES 『Cherryholmes II Black & White』 税込¥1,000-**

前作『Cherryholmes』(SKFR-2014 ¥2,573-)で全米デビューしていきなりIBMAの最優秀エンターティナー賞を獲得したチェリーホームズ、スキヤグス・ファミリーから最新第二弾。煽り立てるリズム・ギター、ツイン・フィドルを適所に効かしたアレンジで疾走するブルーグラス。

**●SKFR-2012 RYAN HOLLADAY 『New Kid in Town』 税込¥1,000-**

Boston Boy/When It Rains/My Caroline in Carolina/Shadow Ridge/Kaymoor Mine/There Is a God/The Road to Donnelaith/Midnight Radio/Blackjack/Hurry Sundown/99 Years(And One Dark Day)/New Kid in Town 全12曲 10歳を前にして既に2枚のアルバムを発表、天才少年の名をほしいままにしたという話題のキッズ・ピッカー、ライアン・ホラデイのスキヤグス・ファミリー・レコードからのナショナル・デビュー。現在12歳、奇しくもかのクリス・シーリー以下のユース・オールスターズの面々と同じ年齢でのデビューだ。バンジョー、マンドリン、ギターを自在に弾きこなしてすべてのブレイクをパワフルに演じ切るのみならず、12歳という年齢ゆえの幼さは随所にみられるもののヴォーカルも聴かせるという、堂々たるパフォーマンスにはただただ恐れ入ってしまう。J. D. クロウやトラッド曲でのストレートなサウンドから、クリス・シーリーのツイストの効いたナンバーまで、ヴォーカル曲ではオーソドックスなブルーグラス・ソングからスティーヴ・ウォリナーのカントリー・ナンバー、サザン・ロックを昇華した曲にタイトル・トラックのイーグルスまでと、多彩なソースからの選曲をしっかりとアレンジして聴かせている。父マーク(g)、叔父マイク(bs)などがサポート、ジェイソン・カーター(f)がゲスト参加

している。バンジョーはカール・ジャクソン、マンドリンはクリス・シーリーがヒーローだというライアン・ホラデイ、恐るべき12歳だ。

**●RUR-1092 CARRIE HASSLER 『The Distance』 税込¥1,000-**

Luxury Liner/All I Have To Do Is Breathe/Catch My Breathe/Keep Your Memory Warm 他全8曲

2006年にマウンテンハートのスーパーフィドラー、ジム・バンクリーブのプロデュースでアルバム、『Carrie Hassler & Hard Rain』(RHY-1028 ¥2,573-)としてデビューしたテネシー出身のカントリーガール、キャリー・ハスラー。その硬質で伸びのあるカントリーボイスでハードコアなコンテンポラリーブルーグラス・サウンドに存在感を持つ彼女の3作目、グラム・パーソンズ/エミルー・ハリスの“Luxury Liner”を1曲目にしたミニアルバム。スティーブ・ガリーのプロデュースで、ロン・スチュワート(bj, f)とジャスティン・モーゼス(d, f)というふたりのマルチプレイヤーのほか、ティム・フタッフオード(g)、アラン・バイビー(m)、マーク・フェイン(bs)、マーク・ロウズ(perc)に、スティーブとデールアン・ブラッドリーのハーモニーという豪華バックアップ。ブルーグラスと曲によってはスティールギターも参加して泣かせるカントリーなどを自由にクロスオーバーする女性シンガーである。

**●ROU-9168 STEEP CANYON RANGERS 『Tell The Ones I Love』 税込¥1,000-**

スティーブ・マーチンとのコラボで一躍、有名になったノース・キャロライナ出身のスティーブ・キャニオン・レンジャーズ、ボブ・ディランのサポート・メンバーでラリー・キャンベルのプロデュース、レボン・ヘルムのスタジオを使ったウッドストック録音。

**●ROU-0660 STEVE MARTIN & STEEP CANYON RANGERS 『Red Bird Alert』 税込¥1,000-**

IBMAエンターティナー・オブ・ジ・イヤーに輝くスティーブ・マーティン&スティーブ・キャニオン・ランブラーズによる第二作、2012年発表。ポール・マッカートニーとディキシー・チックスがゲスト参加。見事なクロウハンマーとスリーフィンガーのバンジョー使い分けが見事なのは、プロデューサーのトニー・トリシュカならではの、卓越した技術と洗練されたアレンジによるインスト曲や上質のボーカルによるブルーグラス・アルバム。ゴ

スペル・ソング仕立てで演じる「無神論者には歌が無い」とか、70年代の70年代のヒット曲で人気番組「サタデーナイト・ライブ」でツタンカーメンに扮したパフォーマンスが大受けした“King Tut”等、コメディアンとして面目躍如といったナンバーも楽しい。ジャケットに書かれた「世界で最高級のブルーグラス」というコピーもあながち誇張ではない。

**●ROU-0634 BELA FLECK 『Throw Down Your Heart: Tales from the Acoustic Planet, Vol. 3 - Africa Sessions 税込¥1,000-**

全バンジョーファン必聴！2009年に発表され、2010年のグラミー最優秀ポップインスト・パフォーマンスとコンテンポラリー・ワールド・ミュージック・アルバムの2部門で受賞した「バンジョー愛」に包まれた大秀作。テーマはバンジョーのルーツ（起源）であるアフリカとの出会い。ブルーグラス・バンジョー奏法のあらゆる手法を駆使して、アフリカのさまざまな楽器や歌とのコラボレーションで、すばらしいバンジョー音楽に仕上げている。全バンジョーファン必聴、強力にお勧めのバンジョー作品。ムーンシャイナ―2009年6月号にベラがアフリカ、バンジョーの旅について寄稿してくれている。

**●ROU-00200 BELA FLECK 『Juno Concerto』 CD(本体¥2,580-)¥2,786-**

Bela Fleck & Colorado Symphony & Jose Luis Gomez:Juno Concerto: Movement I (Live)/Juno Concerto: Movement II (Live)/Juno Concerto: Movement III (Live)

Bela Fleck & Brooklyn Rider:Griff/Quintet for Banjo and Strings: Movement II

ブルーグラスの世界から飛び出したもっと優れた才能のひとつでもあるベラ・フレックの第2作目となる愛息ジュノの名前を冠したバンジョーとオーケストラの為のコンチェルト。タイトルは愛息ジュノに捧げられた、協奏曲はホセ・ルイス・ゴメス指揮によるコロラド交響楽団を迎えて。ニューヨークを本拠地に活動する弦楽四重奏、ブルックリン・ライダーズとの共演。1979年に『Crossing the Tracks』でデビュー以来、革新的で創造的な音楽を産み出し続けている。デビッド・グリスマンがマンドリンで果たした役割と同様に、ベラがニューグラス・リバイバルやグラミー賞に輝く『Drive』(ROU-0255 ¥2,646-)他ソロ作やフレ

クトーンとの活動を通じてバンジョーのポキャブラリーを増やしてきたことが、現在のパンチ・ブラザーズに連なる新しいアコースティック、ブルーグラス音楽の発展を支えてきたことは間違いない。チック・コリアや様々なコラボレーションの中でもアール・スクラッグスから始まるブルーグラス・バンジョーのエッセンスを随所に散りばめて、意外にもそのパートがライブでは凄く受けていたりする。ストリングスとの掛け合いの中でも、親しみのあるフィドル・チューンっぽいメロディが登場したりしてとても興味深い。

**●ROU-0542 OPEN ROAD 『In the Life』 税込¥1,000-[再発見]**

'04年に時山フェスのゲストとしてデビッド・ロングと共に来日、全く無名だったにも拘らず、トラッド・ブルーグラスの素晴らしいボーカルで強烈な印象を残したブラッド・リー・フォークが参加していたコロラド・ベースのオープン・ロードのラウンダーから2枚目の作品、「バーン・ウィリアムズ・バンドがアイドル」と公言してはばからない彼のトラッド志向がブンブンと匂う、21世紀のトラッドグラス。

**●ROU-00267 STEVE MARTIN & STEEP CANYON RANGERS 『Long Awaited Album』 税込¥1,000-**

Santa Fe/Caroline/All Night Long/Canadian Girl/Office Supplies/Bad Night/Strangest Christmas Yet/Always Will/So Familiar/Nights in the Lab/Angeline the Barista/On the Water/Girl From River Run/Promontory Point全14曲

ハリウッドスターにして、最も影響力の有るバンジョー・プレイヤー＝スティーブ・マーチン、2009年『The Crow: new songs for the five-string banjo』でブルーグラス界に参入以来、第5作目、スティーブ・キャニオン・レンジャーズとのコラボとしては『Rare Bird Alert』(2011年)、エディ・ブリッケルも交えた『Live』(2014年)年に続く3作目。アカデミー授賞式の司会も務めた米国民的人気コメディアン、自らの名前を冠してバンジョーの部門で活躍したプレイヤーを顕彰するスティーブ・マーチン・プライズを制定、ブルーグラスやバンジョー音楽を広める事に最も貢献している。全編に楽しい仕掛けが散りばめられたブルーグラス作品。クロウハンマーとスクラッグス・スタイルを駆使して、70年代の伝説のTV番組『ゴングショー』や『サタデー・ナイト・ライブ』でブレイクした

のち、80年代以降には映画『サボテンブラザーズ』、『大災難P.T.A.』(たしか、ビル・モンローのジョークが出てきた!?)、『花嫁のパパ』などで知られる彼、ブルーグラスのCDが映画の最新作ほど期待されていないことを逆手にとったアルバム・タイトル。モダン・フォークにも通じる洒落なオリジナル・ブルーグラス・ソングの数々、スティーブ・キャニオン・レンジャーズとの息もぴったり、セレブのお遊びではまったくない、すばらしくユニークな作品である。

● **PATUX-234 CORY PIATT 『Daydreams』 税込 ¥1,000-**

7歳でマンドリンを弾きはじめたというコリー・ピアットの2012年デビュー作。そのすごいマンドリンを、いまや若者のスタンダード・ジャム曲となりつつあるダロル・アンガーの“Ride the Wild Turkey”ほか、ボーカル曲を4曲に自身のオリジナルインスト曲を配した、バラエティに富んだマンドリンインスト集。バックアップには今もつとも旬の若手スーパーピッカーたち、クレア・リンチ・バンドのブライアン・マクドウェル(ギターもすごい!)のフィドルとジェイク・スタージェル(g)のふたりに、スコット・ベスタル(bj)とランディ・コアズ(d)、マーク・ジャッツ(bs)というベテランが脇を固める。

● **PATUX-303 DEDE WYLAND 『Urge for Going』 税込 ¥1,000-**

トニー・トリシュカ&スカイラインの女性ボーカルとして2度の来日経験を持つデディ・ウェイランド『Keep the Light On』(PATUX-189 ¥2,646-)に続くパタクセントからの2作目。

● **PATUX-307 BRENNEN ERNST 『Had A Big Time Today』 税込 ¥1,000-**

Old Time Song Medley(Suwanee River-The Weeping Willow Tree-The Old Spinning Wheel/The Little Rosewood Casket/Indiana/The Golden Rocket/Ashland Breakdown/The Old Home/Lonesome Road Blues/I'm Walking the Dog 他全14曲

カール・シフレット&ビッグ・カントリー・ショーのメンバーとしてレノ、スクラッグス等、黄金時代のブルーグラスを演じ又、スウィング・スタイルのジャズ・ギタリストとしても多彩なブレンネン・アーンストのブルーグラスにフォーカスしたソロ・プロジェクトはメドレーを含むインスト7曲と唄物

7曲。ジョン・ハートフォードに通じるグッドタイム・ミュージック、マニアも唸るバンジョー・インスト等々、楽しめます。

● **MFR-171006 THOMM JUTZ 『Crazy If You Let It』 税込 ¥1,000-**

ナンシ・グリフィスやマック・ワイズマンの『I Sang The Song』(MFR-170120CD ¥2,646-)のプロデュースとソングライティングで一躍注目を集めたドイツ人のシンガー・ソングライター、トム・ジュッツ、バルサム・レンジ、ジュニア・シスク、テリー・バウカム他、多くのトップ・ブルーグラスサーに作品を提供している彼の、ブルーグラス・アンリミテッド誌レビューのハイライトに選ばれたマウンテン・フィーバーからのデビュー作。

● **PATUX-320 AL JONES, BILLY BAKER & DEE GUNTER 『Just a Memory』 税込 ¥1,000-**

Leaving Detroit/Bonaparte 痴 Retreat/Had a Dream About Mama Last Night/Sally Ann/Losing You/Just a Memory/Bill Cheatham/Give Mother My Crown/Little White Church/I Can't Give My Heart/Just an Old Standby/Please Play the Jukebox

故フランク・ネセサリーとのコンビで知られるアル・ジョーンズ、ビル・キースやデル・マッカーレーを擁した63年のブルーグラス・ボーイズやデルのデビューとなるアーフリー録音で知られるビリー・ベイカー、南部からの移住者が多く独特のブルーグラス・コミュニティを育てて来たメリーランド州ボルチモアで活躍するディー・ガンターというベテランによるハードコアなトラッド・ブルーグラス。

アル・ジョーンズは1932年の現在86歳、10年ほど前にビル・モンローの御落胤であることが話題となった。メリーランド地区の伝説的ドブロ=ラス・フーバー、元カントリー・ジェントルメンで現在はダニー・ペイズリーの下で活躍するマーク・ディレイニー、レーベル主宰者のトム・ミンティ(m)、マーシャル・ウィルボーン(bs)というパタクセントではお馴染みの面々。

チャーリー・ムーアの望郷ソング“Leaving Detroit”、“Give Mother My Crown”はフラット&スクラッグスのゴスペル曲、切々と歌うワルツ曲“Had a Dream About Mama Last Night”はアルのオリジナル。“Losing You”“Just an Old Standby”“Please Play the Jukebox”他、ジミー・

マーチン・ナンバーが沢山聞かれるのもファンには嬉しい。(ムーンシャイナー誌レビューより)

● **RCSI-1020 BILLY BOONE SMITH 『Live From The Moose Lodge』 税込 ¥1,000-**

ビリー&テリー・スミスとしてレッド・クレイから2枚のアルバムをリリース、ブルーグラス系のトップ・ソングライターとしてロンサム・リバー・バンドを初めとして有名バンドに楽曲を提供してきたビリーがここにビリー・ブーン・スミスとして自らのバンドを率いてマディ・サンシャインからデビュー。

● **PC-1163 DIXIE BEE-LINERS 『Ripe』 税込 ¥1,000-**

マロ川端&サミー・シーラーのブルーグラス・エクスチェンジで来日した女性フィドラー、レイチェル・ジョンソンを含むディキシィ・ビーライナーズの全米デビュー作。メインボーカリストの女性、ブランディ・ハートのユニークなソングライティングに独自のアレンジを施し、どの曲も新鮮なサウンドを提示する。ケンタッキー生まれのブランディとニューヨークのオルタナ・カントリーで名を売ったバディ・ウッドワードがニューヨークで結成、その後アパラチアのだ真ん中、プリストル近郊に本拠を移し、ETSUを卒業したレイチェルのほか、サム・モロー(bj)らのメンバーに、マーク・フェイン(bs)、アンディ・レフトウィッチ(m)、ディブ・タルボット(bj)、アンディ・ファルコ(g)らがサポート。ストーリー性のある女性ブルーグラス秀作。

● **MFS-10430 BUBBA CHANDLER 『Somebody To Sing To』 税込 ¥1,000-**

ブルーリッジの若いブルーグラスサーに絶大の影響を与えたロスト&ファウンドの全盛期を支えたマイルドなボーカリスト、ブバ・チャンドラーが、シンガーソングライター系のカバーとオリジナルで、オールドタイム/ブルーグラス/カントリーが生まれたアパラチアの70年代を懐かしむような、ジャンルを越えた作品。ジョン・デンバー"Matthew"、アレン・ミルズ(v, bs)、ジーン・パーカーを迎えた"Rabbit Song"、ゴードン・ライトフット"If You Could Read My Mind"、クリス・クリストファーソン"Casey's Last Ride"等、70年代シンガーソングライターの作品を取上げている。サミー・シーラーのテレキャスター・ソロが炸裂する"Everybody's Got Stories"他、最近、充実し

たブルーグラス&アメリカーナ作品をリリースするマウンテン・フィーバー・レコードの初期のリリース。

● **PC-6506 DARIN ALDRIDGE 『Call It A Day』 CD 税込 ¥1,000-**

Pretty Words/How Could You Go/Coast Of Colorado/Call It A Day/Driving Nails/I Don't Worry About You Anymore/Where I Am Bound/Broken Chains/Stain Glass Tears/Will You Be Ready/Abigails Reel/Late In The Day/Crying Holy 全13曲

嫁のブルック・アルドリッジがIBMAの最優秀女性ボーカルを受賞して大ブレイクしたダリン・アルドリッジのデビューソロ・アルバム。地元でのダリン・アルドリッジ・バンドとしての自主制作盤に続くこのアルバムでは、ティム・スタッフォード(g)、ジェイソン・パールソン(bj)、グレッグ・ラック(f)などいまをときめく顔ぶれに、元同僚ジャレット・カーター(d)を加え、ショーン・レーンやアマダ・スミス、ルー・リードなどのハーモニーを伴って、CGでは表に立つことのなかったハスキーなテナー・ヴォイスで、アマダのハーモニーが印象的なゴスペルなど随所に本場仕込みのトラッド・ブルーグラスへの愛情を窺わせながら、すっきりとしたコンテンポラリー・ブルーグラスに仕上げている。コンボラ、トラッドのいずれにも精通した自身のオリジナル曲を主体に、ヴィンス・ギルやスキップ・ユイニングのカントリー・ヒットのカヴァーなど。

● **ACD-61 OLD SCHOOL FREIGHT TRAIN 『Run』 税込 ¥1,000-**

デビッド・グリスマンの目に留まり、2000年にナショナル・デビューを飾った21世紀ブルーグラス、オールド・スクール・フレイト・トレイン。2009年にバンドは解散してしまっただがメンバーのネット・リリースはパタクサント・レコードから独自の解釈による2枚のオールドタイム・フィドル・アルバムをリリースした他、プロデューサーとしても活躍。本作のメロディーや詩の世界は、みずみずしい感性に溢れて、新鮮に響いてくる。

● **MRR-1017 SNYDER FAMILY BAND 『Building Bridges』 税込 ¥1,000-**

脅威のティーンエイジャー・ピッカー兄妹を擁するファミリー・バンド。大注目です。

● **RCSI-1139 MICHAEL MONROE GOODMAN 『The**

**Flag, The Bible & Bill Monroe】税込¥1,000-**  
Wretched Woman/I'm Just Country/Tinkerbell Love  
Song/It Never Rains/The Flag, The Bible, &  
Bill Monroe/If She Knew/Yay! Friday/Concerts  
in My Underwear/Drunk Again/She Was Mine/Let  
It Ride/Rosine I Cry/Maple Inn

両親がビル・モンローと友達(自分の子供のミドルネームにモンローとつけるほどの)だった事から幼少の頃よりモンローと交流があったというケンタッキー生まれのカントリー・シンガー、マイケル・モンロー・グッドマンの2枚目のアルバム。アルバム・カバーの裏面のストローハットを被せて貰って、モンローに抱きかかえられる本人の写真にぐっとくる。ケンタッキー・プライド・ホンキー・トックと称されるメジャーでは聞かれなくなった正統派カントリー。ビル・モンロー賛歌“Rosine I Cry”ではハイロンサム・サウンドによるブルーグラスも聞ける。両親がビルと同じ教会に通う友人だったという。そのミドルネームもさることながら、タイトルは「国旗と聖書とビル・モンロー……」と歌う愛国ソング。音楽はちょっとブルーグラス風もあるが、ペダルスティールをメインにした、いわゆるホンキートックカントリー作品。

**[全て税込¥1000-。売り切れ御免、在庫品限りの特別価格です。数の少ないものばかりですので、必ず第2, 第3希望などもお知らせください。]**

**AA&A-0001 KOBE SUPER-PICKERS 『Dusk & Dawn, Acoustic Unlimited』**

**COMP-4339 LEFTOVER SALMON 『Live』**

Let's Give a Party/Steam Powered Aereoplane/  
Bill's Boogie/Dark Green Thing/Danger Man 他  
全9曲

**MAJ-1111 ED SNODDERLY 『Diamond Stream』**

カーター・ファミリー、ストリングバンド、ピードモント・ブルース等、様々なアパラチア音楽のエッセンスで創られた素晴らしいオリジナル・アルバム。

**SH-1067 MUTUAL ADMIRATION SOCIETY  
AMEICANA**

ニッケル・クリークとオルタナ・ロック系シンガー・ソングライター、グレン・フィリップスのコラボレーション

**CGCD-0186 MARO KAWABATA 『CAROLINA BLUE』**

サンセット・ドライブが高い評価を得たマロ・カワバタのオール・スター・キャストによるデビュー作。

**CMH-6277 V.A. 『HATS OFF:TO GARTH BROOKS』**

ガース・ブルックスのヒット曲を腕利きのミュージシャンがインストで料理するヒット・シリーズの1枚

**COMP-4293 JUDITH EDELMAN 『DRAMA QUEEN』**

才能ある女性シンガーソングライター、ジュデス・エデルマン

**FACH-0301 SADIE COMPTON 『TROUBLE COME  
KNOCKIN'』**

オールドタイム、ケイジャン、ブルーグラス風味のフィドルとボーカル

**LAV-1032 GERALD EVANS & PARADISE 『HEADIN'  
HOME』**

優れたマンドリン&フィドル奏者、惜しくも亡くなったジェラルド・エバンス

**LEG-1051 JENNI LYN**

**MAJ-1111 ED SNODDERLY 『THE DIAMOND  
STREAM』**

ブラザー・ボーイのエド・スノーダリーのソロ

**NTCD-2002 \*ETSU PRIDE**

ブルーグラス学科で知られるETSUの精鋭メンバーによる作品

**OFM-65 BRIAN WICKLUND 『ARRIVAL』**

滞日経験もあるフィドラー、ブライアン・ウィクランドのデビュー作

**PG-6506 DARLIN ALDRIDGE 『CALL IT A DAY』**

元カントリー・ジェントルメンのマンドリンによるコンテンポラリー・ブルーグラス

**RME-0700 LESTER & MIKE 『JUMP SHOUT AND  
STOMP』**

知る人ぞ知るナッシュビルのオールドタイミーなブルーグラス

**SH-3955 SEAN WATKINS 『26 MILES』**

ニッケル・クリークのギタリスト、ショーン・ワトキンスによる新世代アコースティック作品

**BPM-403 LAURA NYRO 『LIVE FROM THE  
MOUNTAIN STAGE』**

FOLK 女性シンガーソングライター、ローラ・ニーロのラジオ・ライブ

**PH-1097 NANCI GRIFFITH 『There's a Light**

### **Beyond These Woods』**

FOLK ナンシー・グリフィスのフォーク、アコースティック・カントリー

### **DNB-95001 DAVID NELSON BAND "Limited Edition"**

Yvonne/John Hardy's Wedding/Born Sidestepper/  
The Wizard's Son/Freight Train Boogie/Extra  
Sox/Four:Fifty-One.

宝塚夏フェスのゲストとして来日してくれその素晴らしいクラレンス・ギターを聴かせてくれたデビッド・ネルソン。デッド・ファミリーのニュー・ライダーズ・オブ・ザ・パープル・セイジや、ドン・レノやフランク・ウェイクフィールドらとのブルーグラスで知られる彼の、久々にハッピーな95年作、デッド系カントリー・ロック作品。3曲がスタジオ録音、4曲がライブ録音。

### **OXCD-6006 TOULOUSE ENGLEHARDT**

トゥールーズ・エンジェルハート、フィンガーピッキングによるインスト作品。

### **OXCD-6024 GRAM PARSONS 『CONVERSATION W/ BIG MO』**

カントリー・ロックのカリスマ、グラム・パーソンズのインタビュー

### **SP-1223 \*V.A./THE GRAM PARSONS NOTEBOOK**

カール・ジャクソンが中心となり、「カントリー・ロックの父」と言われるグラム・パーソンズの残されたメモ帳から、ナッシュビルのシンガーやソングライター達が創り上げた爽快なウェスト・コースト・サウンド作品。

☆☆ビー・オー・エム・サービス(御注文は:TEL  
0797-87-0561:FAX 0797-86-5184:E-MAIL  
order@bomserv.comにて承ります。☆☆